

竹内明太郎（たけうちめいたろう）

～日本機械工業の偉大な恩人～

竹内 明太郎（たけうち めいたろう、1860年～1928年）

高知県宿毛市出身の明治・大正期の実業家・衆議院議員。政治家竹内綱の長男。戦後の名宰相である吉田茂は、明太郎の末弟。麻生太郎元首相の大伯父。

明治19年（1886年）26歳にして、父・綱が所有する芳谷炭坑を経営する。

明治27年（1894年）竹内鑛業（株）を設立し、芳谷炭坑、大夕張炭山、茨城無煙炭鑛などがその傘下に収められた。

その後、唐津鉄工所と小松鉄工所（現「（株）コマツ」）を創業した。唐津鉄工所は、当初は竹内鑛業の各鉱山で使われる機械の設計製作を行った。技術陣には東京高等工業学校の卒業生が多数集まり、地元出身の若い職工たちを教育するために、工場内に3年課程の「見習学校」が設けられた。ほどなく社外からの注文も受けるようになり、唐津鉄工所は、わが国を代表する精密機械工場のひとつとして、名声を確立して行った。

高知県工業高等学校（現・高知県立高知工業高等学校）の創立や早稲田大学理工学部の設立にも尽力した。1915年に第12回衆議院議員総選挙に立憲政友会から出馬して当選し、その後2選する。1928年、肺炎で死去。

分野

人物

◎地図・写真・統計資料など



竹内 明太郎
(1860～1928)

(宮島醤油HPより)

◎引用・参考文献（出典）

- ◆『てっこうしょのことども』（唐津鐵工所）
- ◆宮島醤油ホームページ

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html